

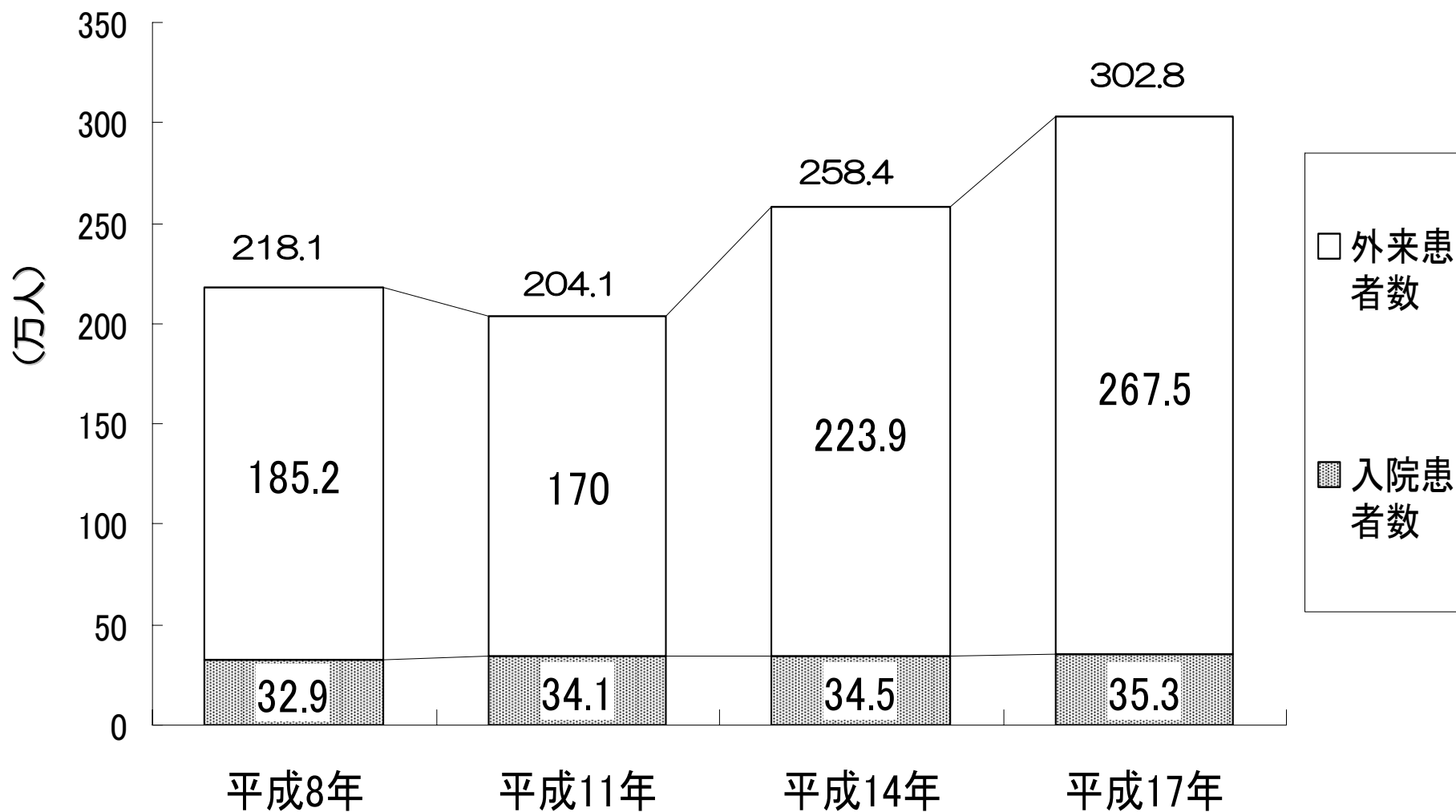
第1回 今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会

平成20年4月11日

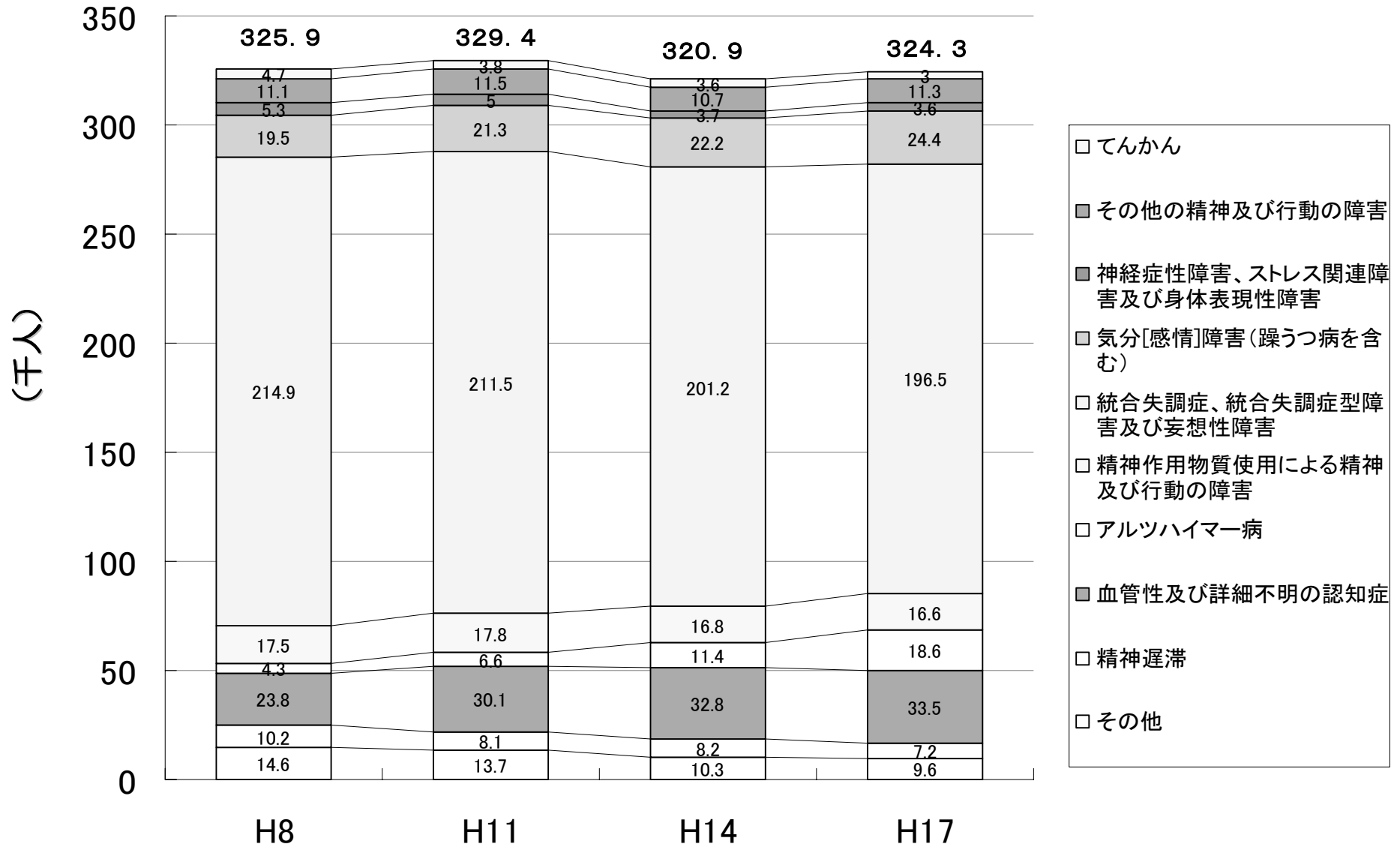
資料3

精神保健医療福祉の現状

患者数内訳（外来患者数・入院患者数）



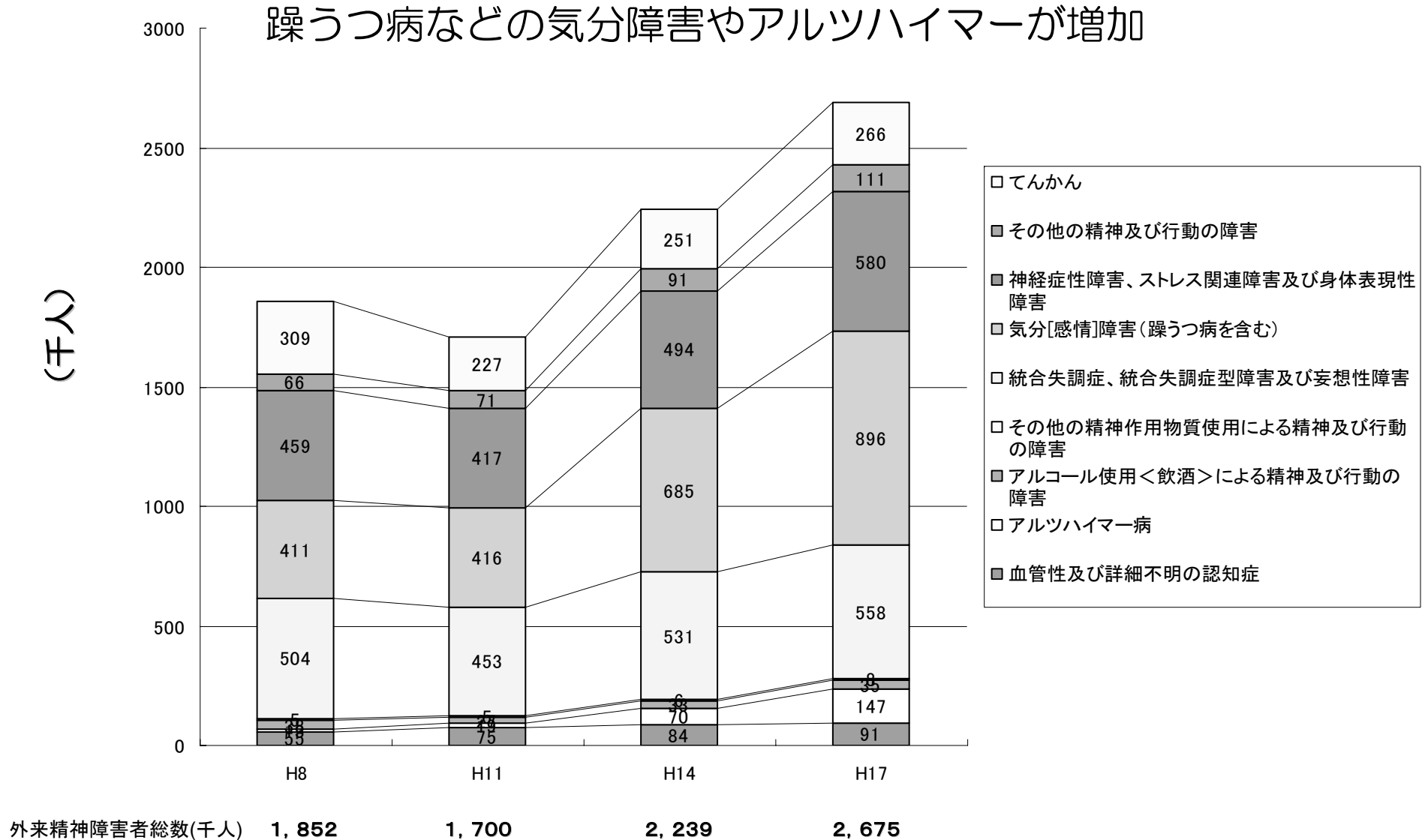
精神病床入院患者の疾病別内訳



資料：患者調査

精神疾患外来患者の疾病別内訳

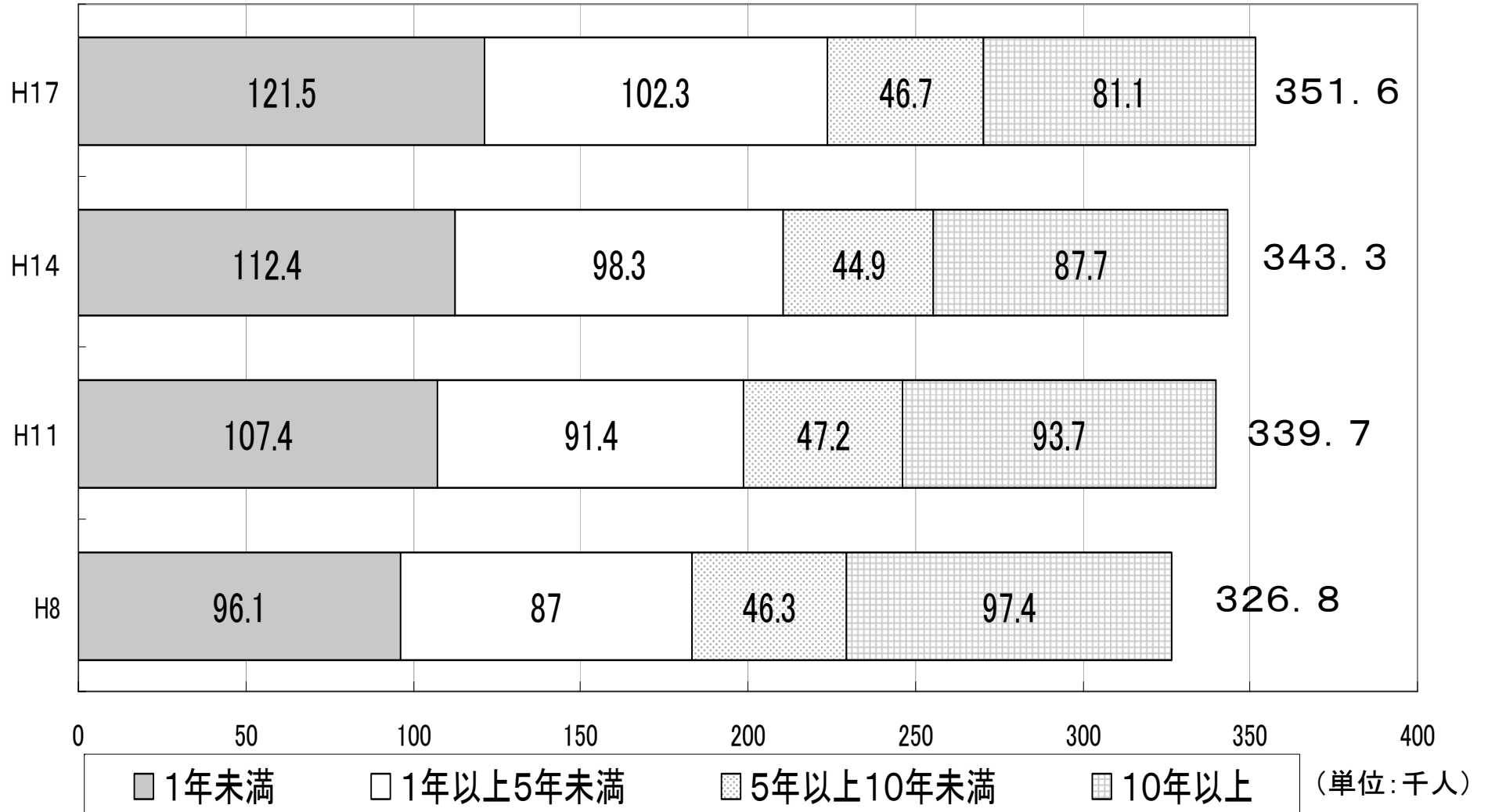
躁うつ病などの気分障害やアルツハイマーが増加



資料：患者調査

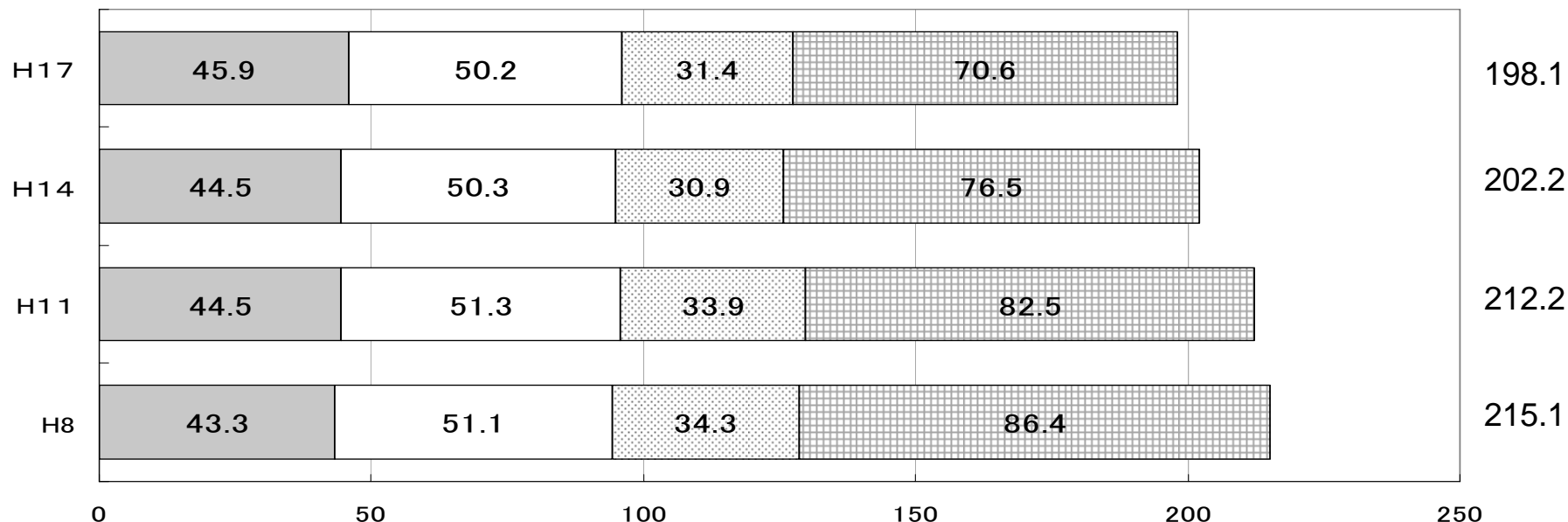
入院期間別疾患別推計入院患者数の年次推移

【精神疾患総数】

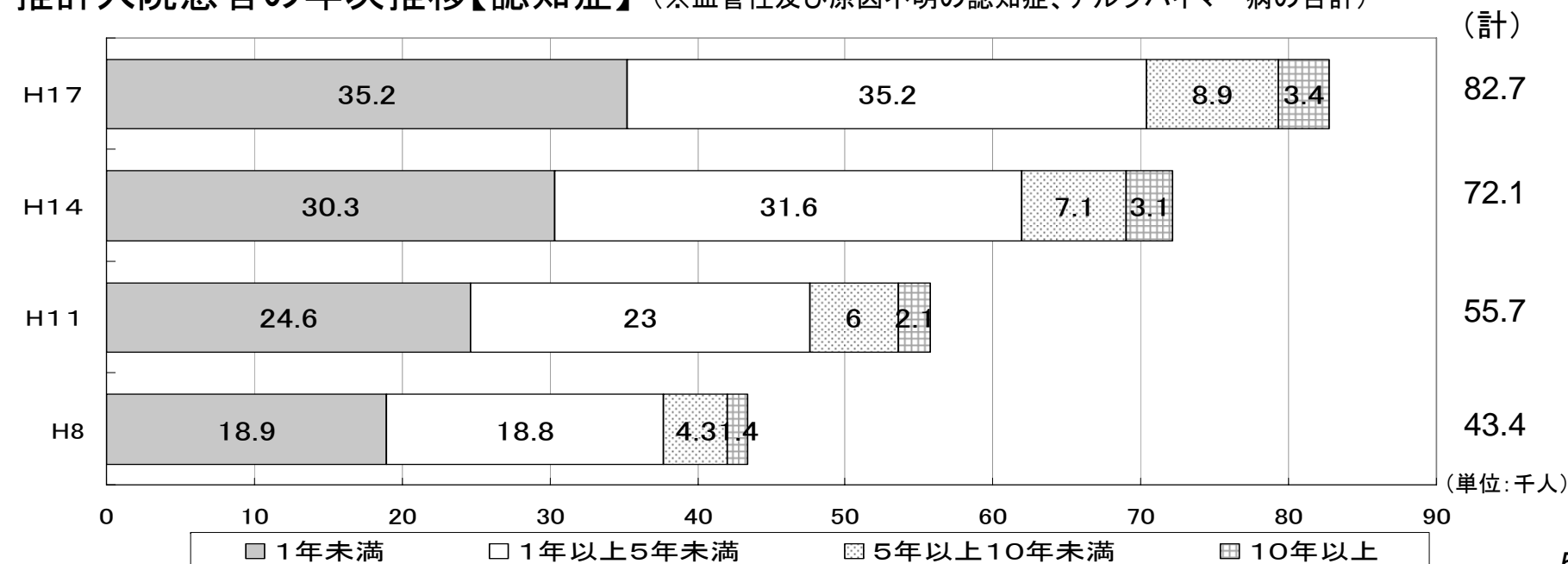


資料:患者調査

推計入院患者の年次推移【統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害】

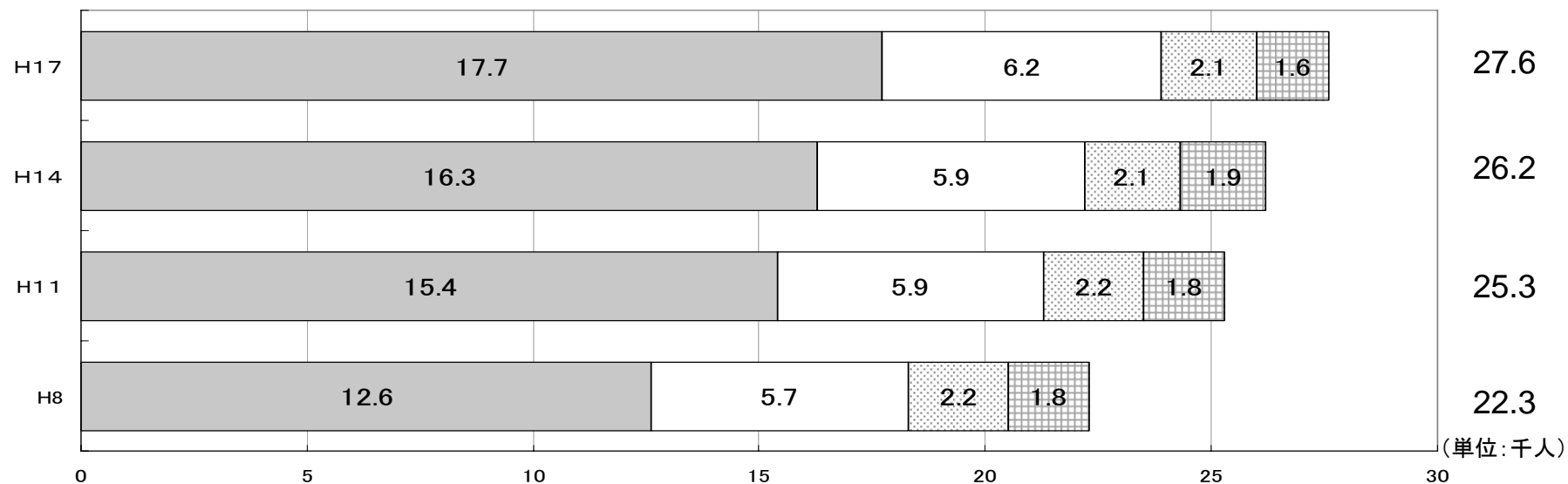


推計入院患者の年次推移【認知症】 (※血管性及び原因不明の認知症、アルツハイマー病の合計)



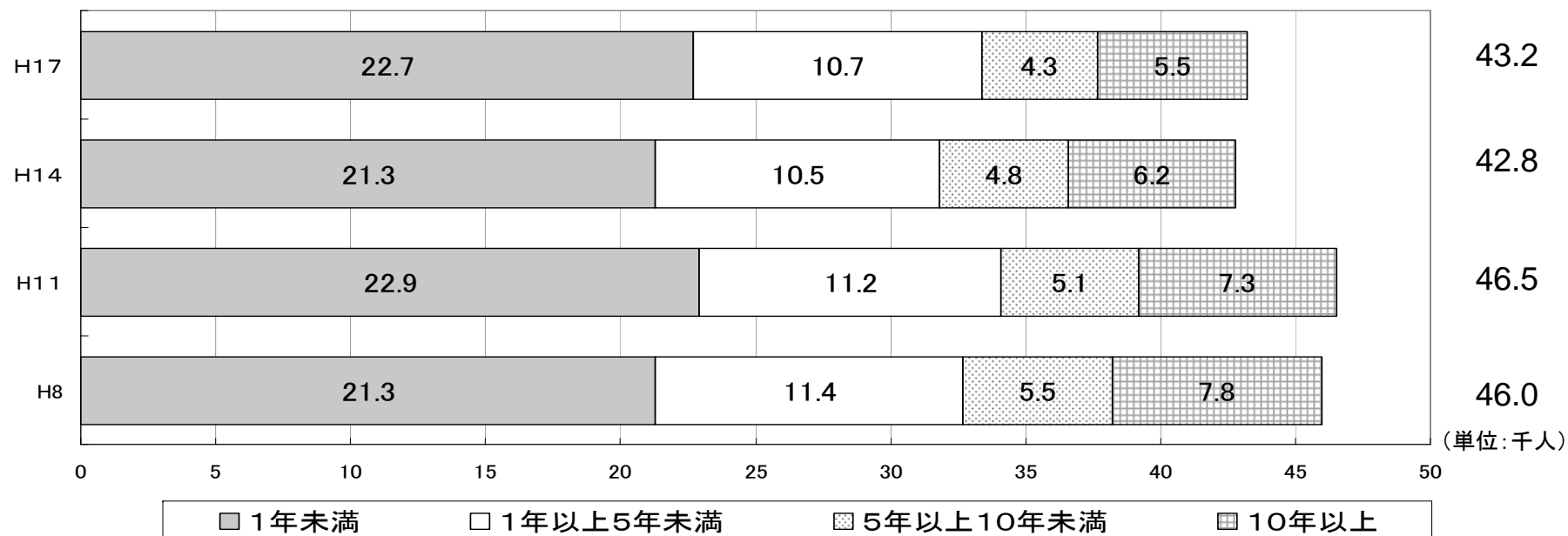
推計入院患者の年次推移【気分[感情]障害(躁うつ病を含む。)]

(計)



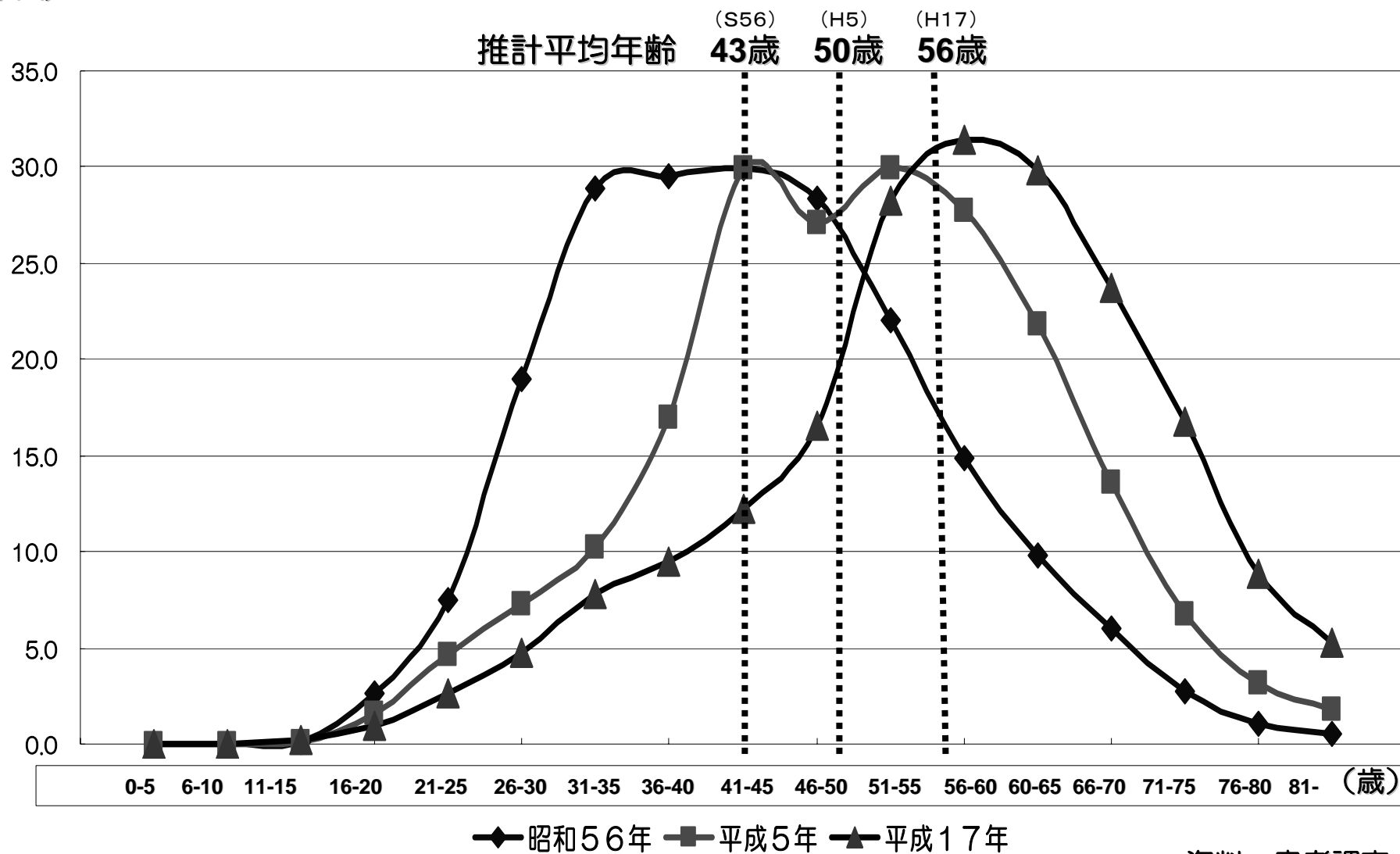
推計入院患者の年次推移【認知症、統合失調症、気分障害以外】

(計)



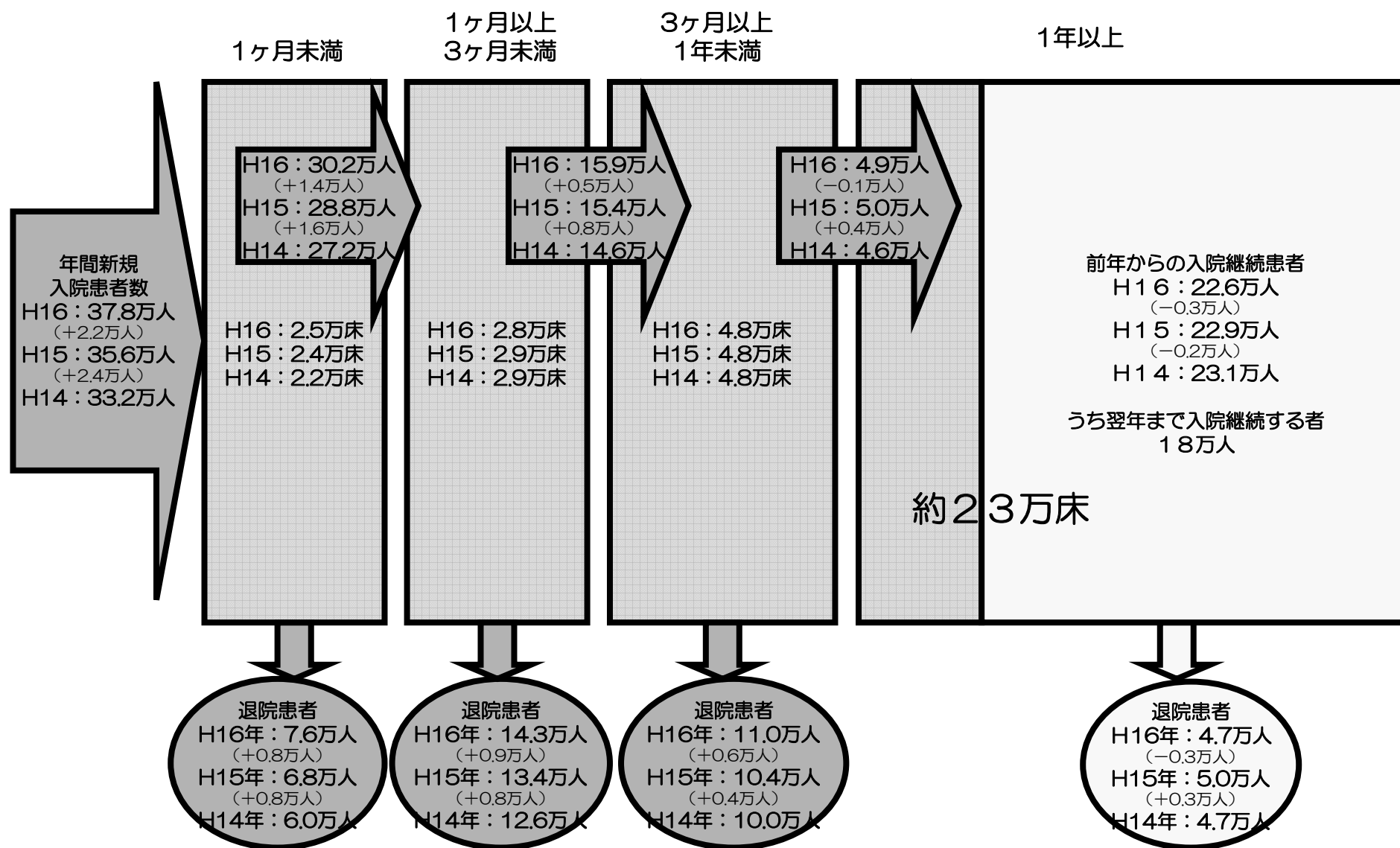
精神病床における年齢階級別の 統合失調症の推計入院患者

(千人)



資料：患者調査

精神病床における患者の動態の年次推移

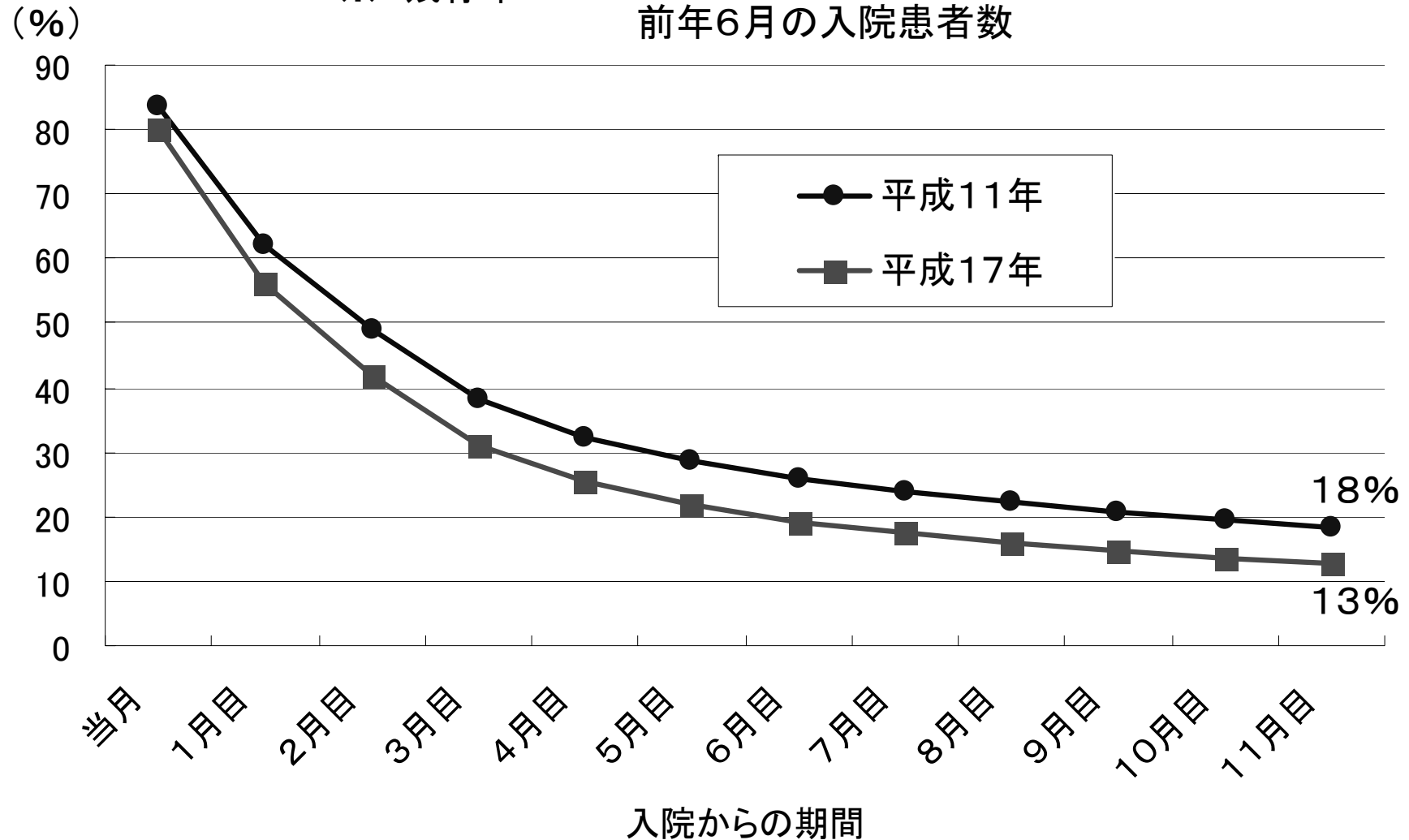


資料：精神・障害保健課調

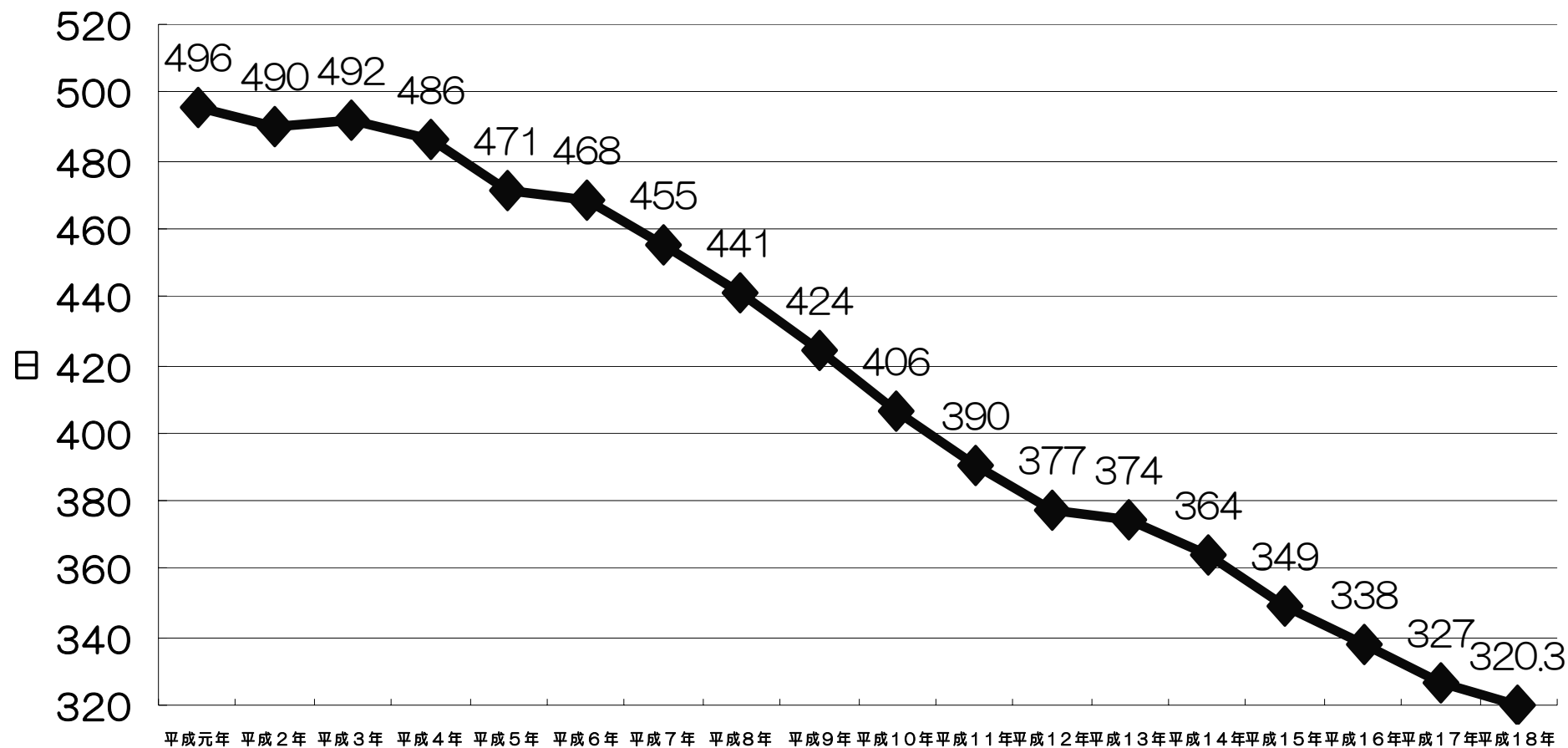
新入院患者の残存曲線

H11→H17で残存率は少し下がった。

※ 残存率 = $\frac{\text{毎月の残留患者数合計}}{\text{前年6月の入院患者数}}$



精神病床の平均在院日数の推移



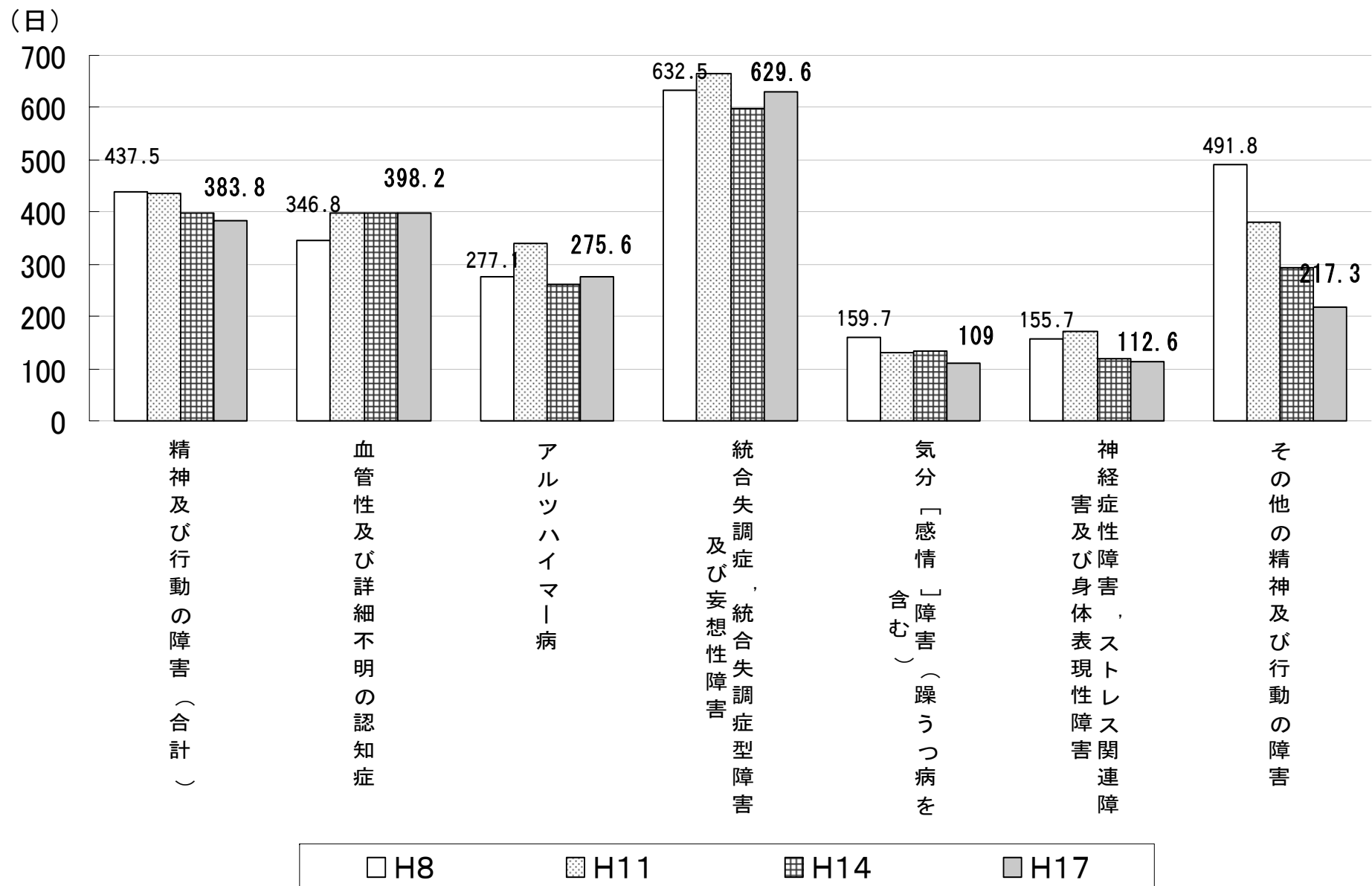
平成元年 平成2年 平成3年 平成4年 平成5年 平成6年 平成7年 平成8年 平成9年 平成10年 平成11年 平成12年 平成13年 平成14年 平成15年 平成16年 平成17年 平成18年

年間在院患者延数

資料：病院報告

※平均在院日数= $\frac{\text{年間在院患者延数}}{\frac{1}{2} \times (\text{年間新入院患者数} + \text{年間退院患者数})}$

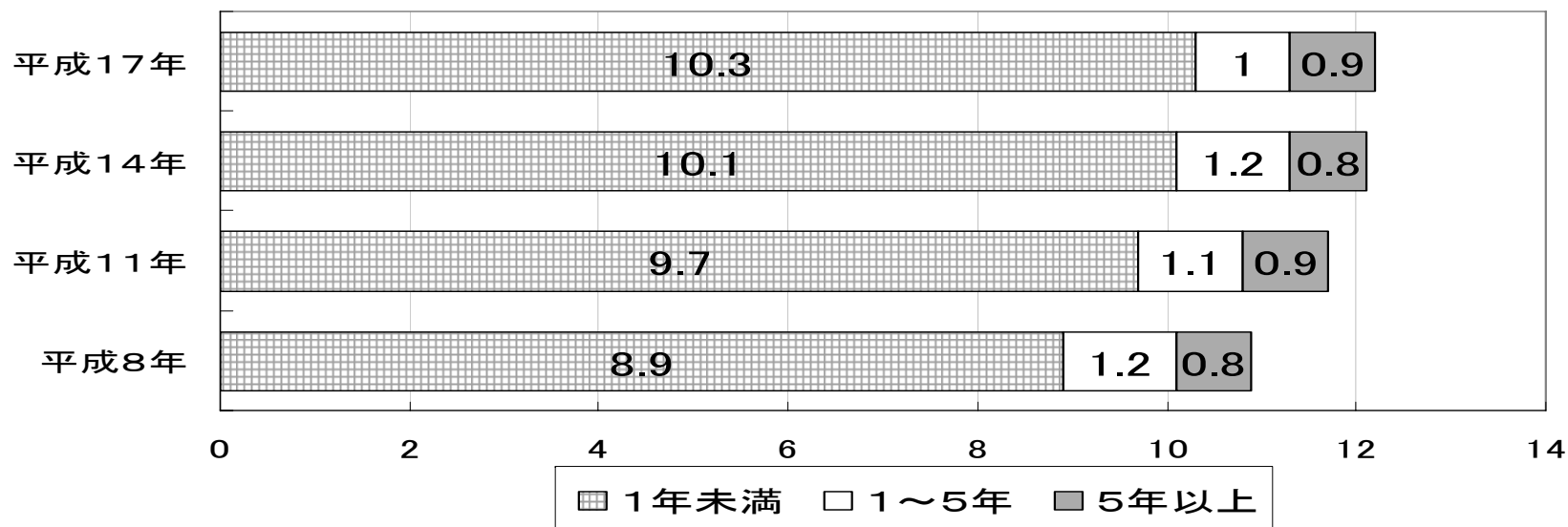
疾患別の退院患者平均在院日数の推移(精神病床)



【統合失調症】 推計退院患者数(在院期間別)

資料:患者調査

※ 各年9月の退院者数(単位:千人)



在院期間別退院患者(実数)

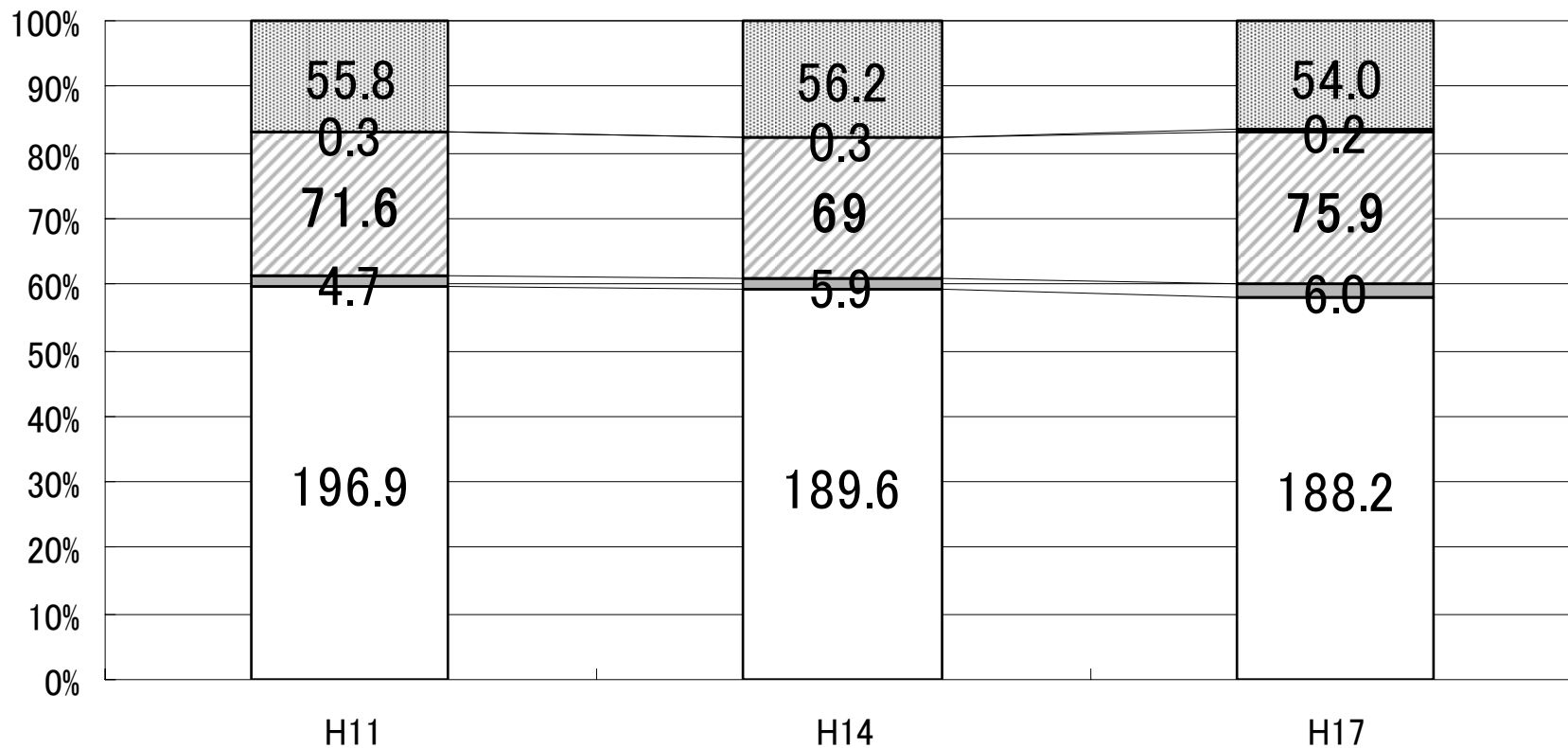
資料:精神・障害保健課調

※ 各年6月の退院者数(単位:人)

	総数	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
平成17年	30,498	26,530	2,565	650	384	369
平成16年	29,972	26,037	2,615	593	383	344
平成15年	28,780	24,651	2,708	605	415	401
平成14年	27,280	23,322	2,609	580	382	387

精神病床入院患者の状況

入院患者の状況は、ほぼ変化はない。



- 生命の危険は少ないが入院治療、手術を要する
- 生命の危険がある
- ▨ 受け入れ条件が整えば退院可能
- ▤ 検査入院
- ▧ その他

資料：患者調査

受け入れ条件が整えば退院可能な者の入院期間別・年齢／疾患別の状況(精神病床)
 (単位:千人)

入院期間	年齢／疾患	疾患名	55歳未満	55歳以上	65歳以上【再掲】
			22.3(30.3%)	51.3(69.7%)	32.7(44.4%)
1年未満 24.5 (33.3%)		総数	9.3(12.6%)	15.2(20.7%)	10.8(14.7%)
		統合失調症	5.8(7.8%)	4.6(6.3%)	2.3(3.1%)
		認知症	3.5(4.8%)	5.9(8.1%)	5.7(7.7%)
		その他		4.6(6.3%)	2.8(3.9%)
1年以上5年未満 21.8 (29.7%)		総数	5.9(8.1%)	15.9(21.6%)	10.9(14.8%)
		統合失調症	4.9(6.6%)	6.9(9.4%)	3.6(4.9%)
		認知症	1.1(1.4%)	5.3(7.3%)	5.0(6.9%)
		その他		3.6(4.9%)	2.3(3.1%)
5年以上10年未満 10.0 (13.6%)		総数	3.0(4.0%)	7.0(9.6%)	4.1(5.6%)
		統合失調症	2.5(3.4%)	4.4(5.9%)	2.0(2.8%)
		認知症	0.4(0.6%)	1.3(1.8%)	1.2(1.7%)
		その他		1.4(1.9%)	0.8(1.1%)
10年以上 17.3 (23.5%)		総数	4.1(5.6%)	13.2(17.9%)	6.9(9.3%)
		統合失調症	3.7(5.0%)	11.0(14.9%)	5.5(7.4%)
		認知症	0.5(0.6%)	0.6(0.8%)	0.5(0.7%)
		その他		1.7(2.3%)	0.9(1.3%)

(注)入院期間不詳及び年齢不詳は除く。

総計 73.6(千人)

患者調査中「Ⅴ精神及び行動の障害」(「精神遅滞」を含む。)と「Ⅵ神経系の疾患」のうち、「アルツハイマー病」・「てんかん」の積み上げ
 ・統合失調症・・・患者調査中「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」の数
 ・認知症・・・患者調査中「血管性及び詳細不明の認知症」及び「アルツハイマー病」の合計

資料:平成17年患者調査の特別集計より、精神・障害保健課にて作成14

受け入れ条件が整えば退院可能な者の入院期間別・年齢／疾患別の状況(精神病床)
【統合失調症】 (単位:千人)

	合計	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
統合失調症総数	195.4	44.8 (22.9%)	49.4 (25.3%)	31.1 (15.9%)	70.1 (35.9%)
55歳未満	75.0 (38.4%)	25.1 (33.5%)	20.0 (26.7%)	11.8 (15.7%)	18.2 (24.3%)
55歳以上	120.4 (61.6%)	19.8 (16.4%)	29.4 (24.4%)	19.3 (16.0%)	51.9 (43.1%)
65歳以上 (再掲)	58.6 (30.0%)	9.7 (16.6%)	14.8 (25.3%)	9.2 (15.7%)	24.9 (42.5%)
受け入れ条件が整えば 退院可能な者(統合失調症)	43.7	10.4 (23.7%)	11.8 (27.1%)	6.9 (15.8%)	14.6 (33.4%)
55歳未満	16.8 (38.5%)	5.8 (34.5%)	4.9 (29.2%)	2.5 (14.9%)	3.7 (22.0%)
55歳以上	26.9 (61.5%)	4.6 (17.1%)	6.9 (25.7%)	4.4 (16.4%)	11.0 (40.9%)
65歳以上 (再掲)	13.4 (30.7%)	2.3 (17.2%)	3.6 (26.9%)	2.0 (14.9%)	5.5 (41.0%)

(注)入院期間不詳及び年齢不詳は除く。

各年齢区分の入院期間毎の数値の下にある比率は、各年齢区分の合計数に対する割合

資料:平成17年患者調査の特別集計より、精神・障害保健課にて作成₁₅

受け入れ条件が整えば退院可能な者の入院期間別・年齢／疾患別の状況(精神病床)
【認知症】 (単位:千人)

		合計	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
認知症総数		51.8	21.7 (42.0%)	21.5 (41.5%)	5.7 (11.1%)	2.8 (5.4%)
	55歳未満	0.4 (0.7%)	0.1	0.1	0.05	0.03
	55歳以上	51.4 (99.3%)	21.6 (42.0%)	21.3 (41.4%)	5.7 (11.1%)	2.8 (5.4%)
	65歳以上 (再掲)	48.8 (94.2%)	20.6 (42.2%)	20.3 (41.6%)	5.4 (11.1%)	2.6 (5.3%)
受け入れ条件が整えば 退院可能な者(認知症)		13.2	6.0 (45.3%)	5.4 (40.6%)	1.3 (9.9%)	0.6 (4.2%)
	55歳未満	0.09 (0.7%)	0.05	0.03	0.02	0.0
	55歳以上	13.1 (99.3%)	5.9 (45.0%)	5.3 (40.5%)	1.3 (9.9%)	0.6 (4.6%)
	65歳以上 (再掲)	12.4 (94.0%)	5.7 (46.0%)	5.0 (40.3%)	1.2 (9.7%)	0.5 (4.0%)

(注)入院期間不詳及び年齢不詳は除く。

各年齢区分の入院期間毎の数値の下にある比率は、各年齢区分の合計数に対する割合

・認知症・・・患者調査中「血管性及び詳細不明の認知症」及び「アルツハイマー病」の合計

受け入れ条件が整えば退院可能な者の入院期間別・年齢／疾患別の状況(精神病床)
【気分障害】 (単位:千人)

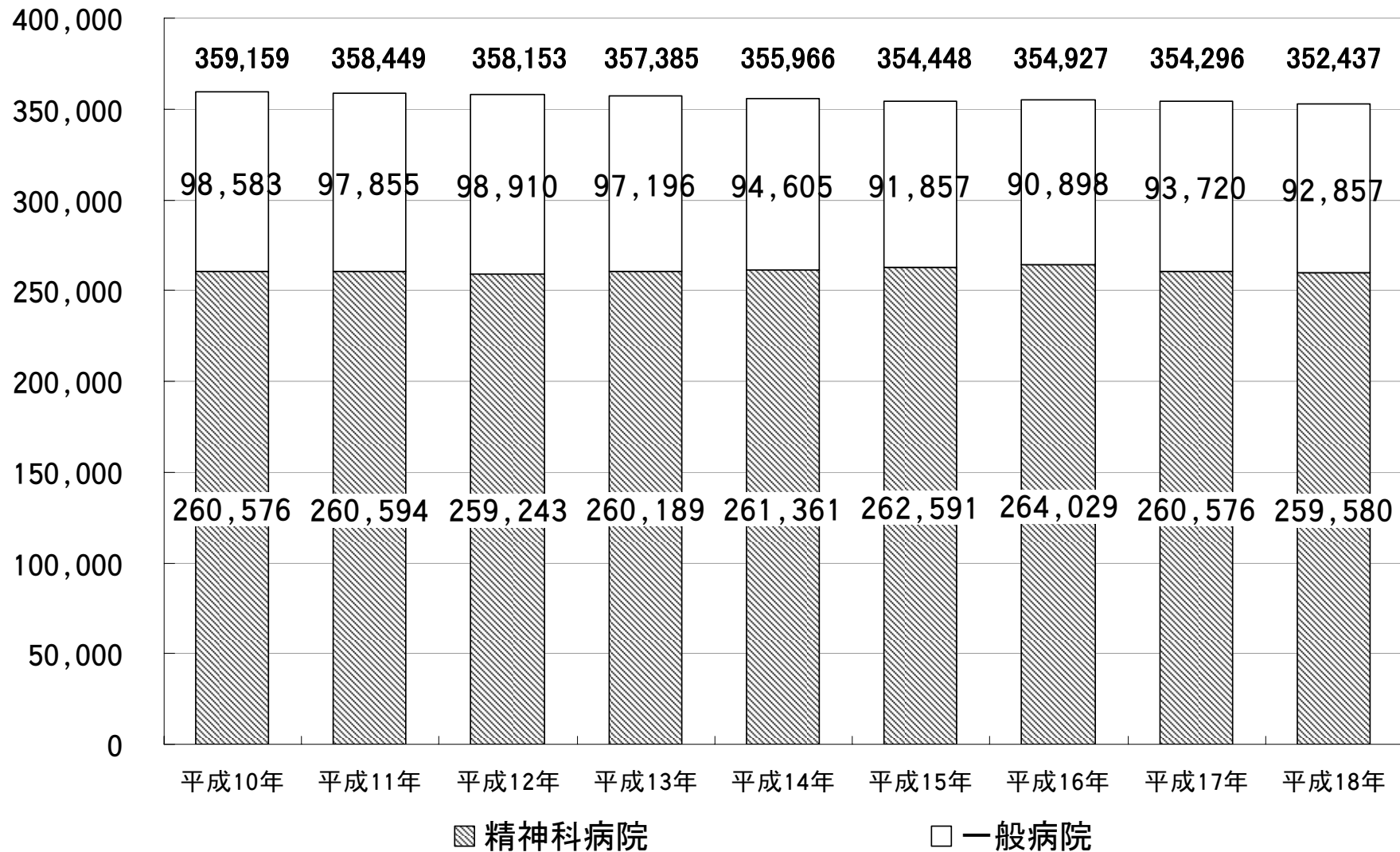
	合計	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
気分障害総数	24.3	15.1 (62.3%)	5.7 (23.3%)	1.9 (8.0%)	1.5 (6.3%)
55歳未満	7.3 (30.2%)	6.0 (82.2%)	0.8 (11.0%)	0.2 (2.7%)	0.2 (2.7%)
55歳以上	16.9 (69.8%)	9.1 (53.8%)	4.8 (28.4%)	1.7 (10.1%)	1.3 (7.7%)
65歳以上 (再掲)	11.5 (47.4%)	6.0 (52.2%)	3.4 (29.6%)	1.2 (10.4%)	0.9 (7.8%)
受け入れ条件が整えば 退院可能な者(気分障害)	6.2	3.7 (58.8%)	1.6 (26.3%)	0.5 (8.3%)	0.4 (6.5%)
55歳未満	1.7 (27.4%)	1.4 (82.4%)	0.2 (11.8%)	0.06 (3.5%)	0.04 (2.4%)
55歳以上	4.5 (72.6%)	2.3 (51.1%)	1.4 (31.1%)	0.5 (11.1%)	0.4 (8.9%)
65歳以上 (再掲)	3.1 (50.5%)	1.5 (48.4%)	1.0 (32.3%)	0.4 (12.9%)	0.2 (6.5%)

(注)入院期間不詳及び年齢不詳は除く。

各年齢区分の入院期間毎の数値の下にある比率は、各年齢区分の合計数に対する割合

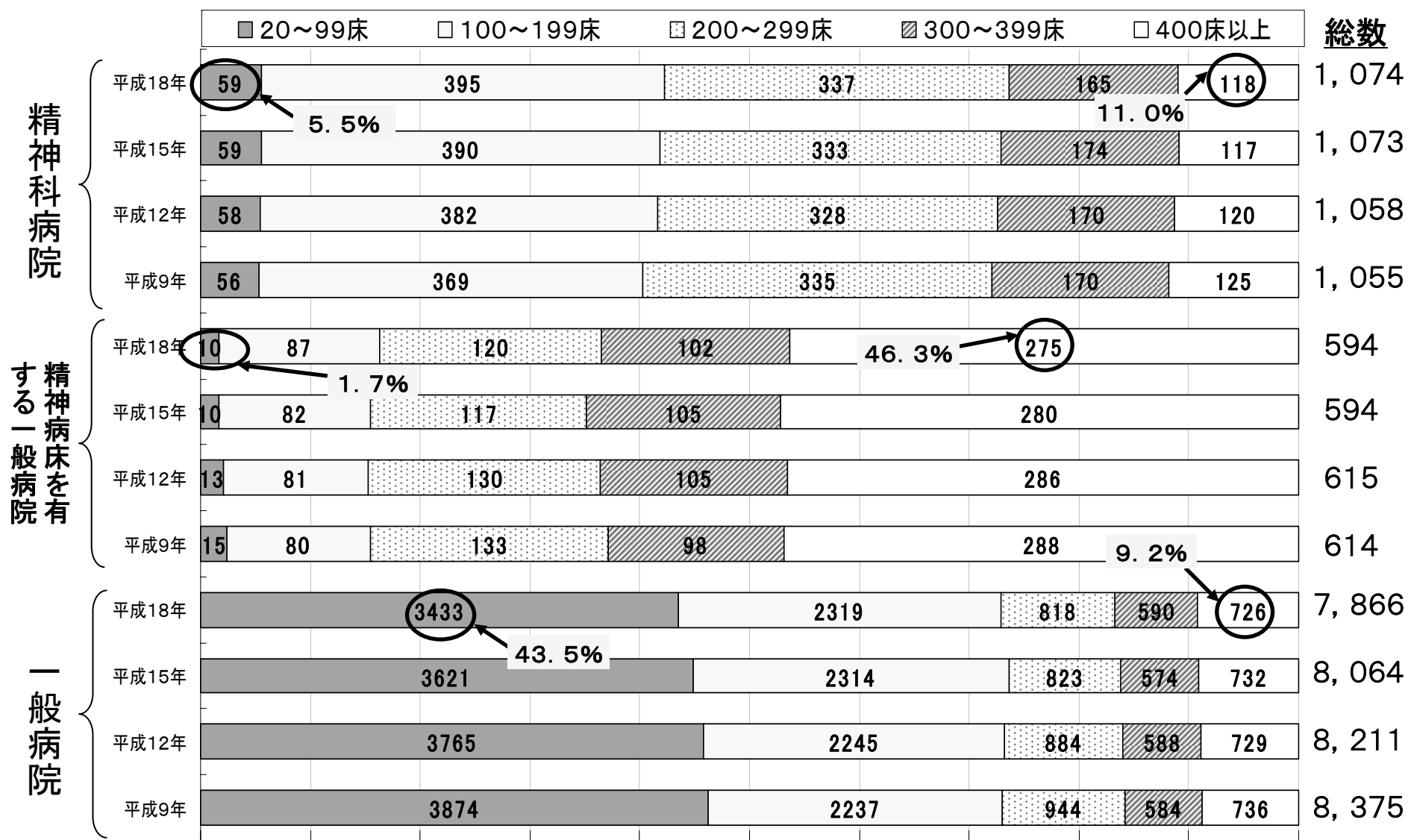
精神病床数の変化

(床)



資料：医療施設調査（毎年10月1日時点）

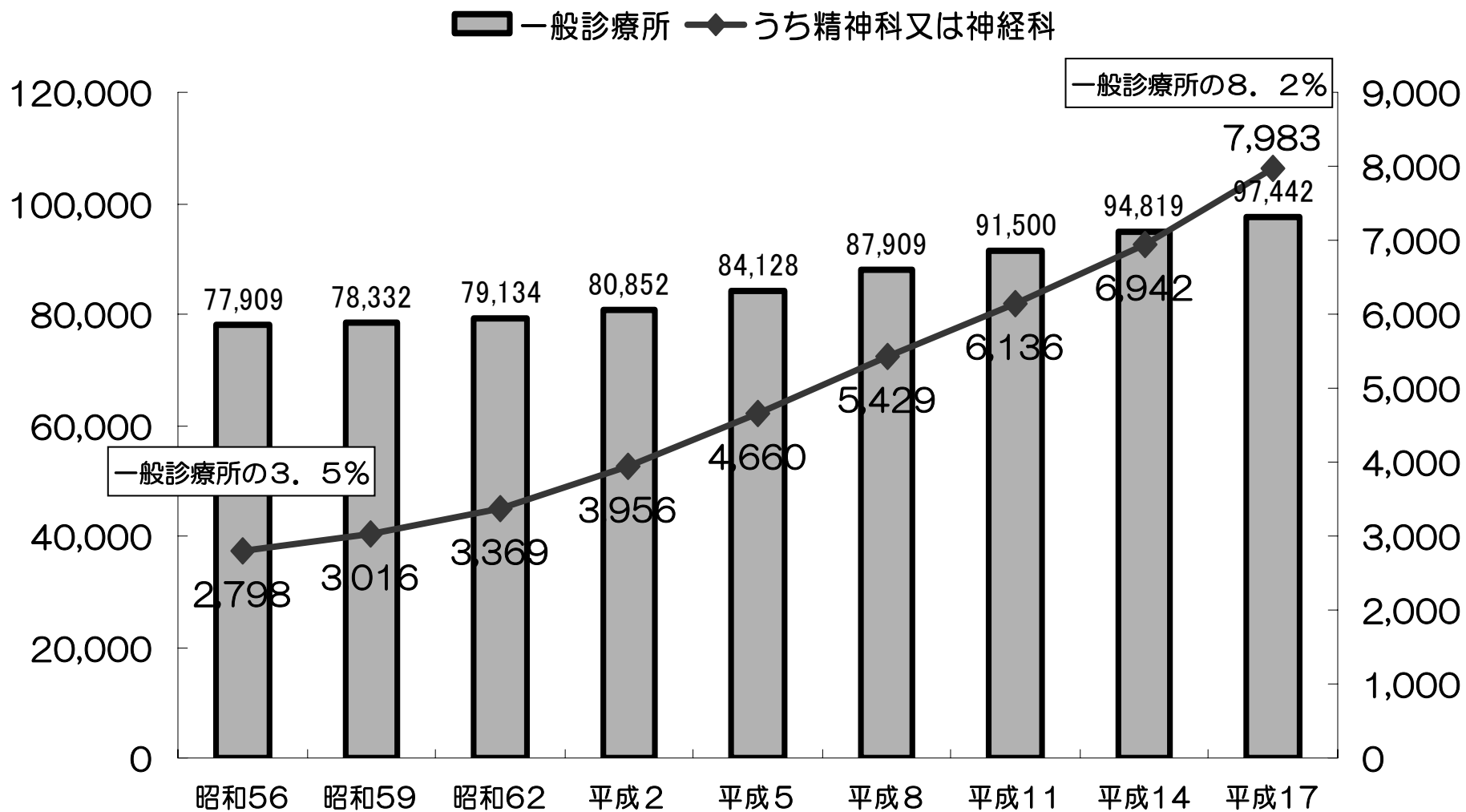
病床規模別病院数の年次推移(各年6月現在の推移)



※ 精神科病床を有する一般病院は、一般病院の再掲。

資料: 病院報告

一般診療所数及び精神科又は神経科標榜診療所数の推移

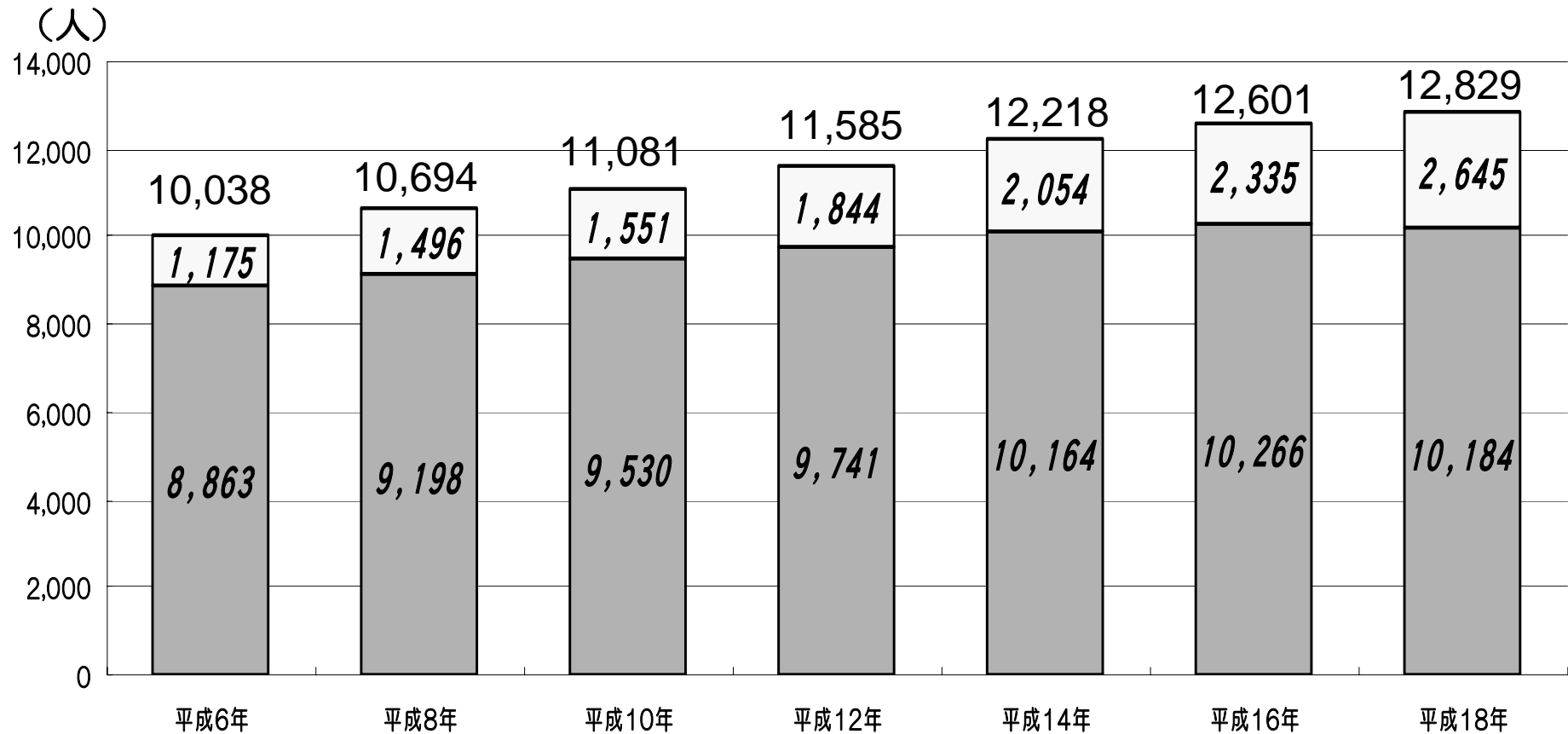


資料：医療施設調査

精神科医の所在（病院と診療所）

診療所に勤務する精神科医が増加している。
 （平成6年→平成18年では、診療所では125%増加、病院では15%増加）

■病院 □診療所



平成6年	病院医師	88%	診療所医師	12%
平成18年	病院医師	79%	診療所医師	21%

精神科病院における医療関係従事者数

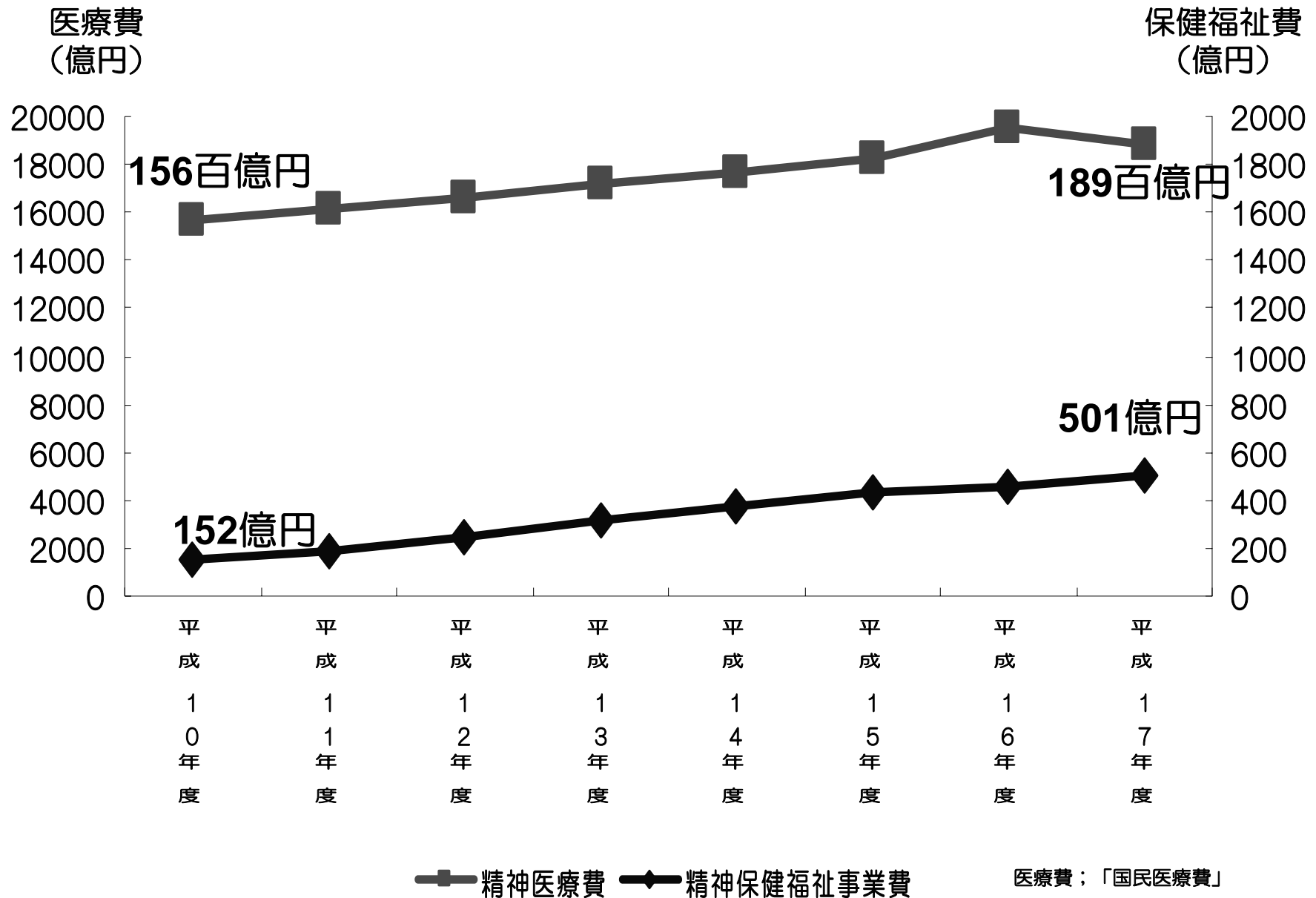
(単位:人)

	平成11年	平成14年	平成17年
看護師	36, 224	38, 252	42, 265
准看護師	39, 622	39, 132	37, 090
看護業務補助者	24, 901	26, 194	28, 336
作業療法士	1, 898	2, 771	3, 519
精神保健福祉士	962	2, 260	3, 912

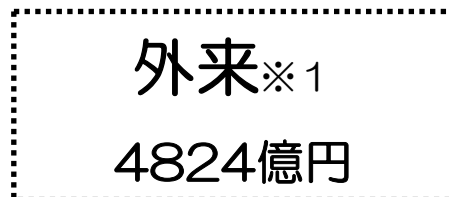
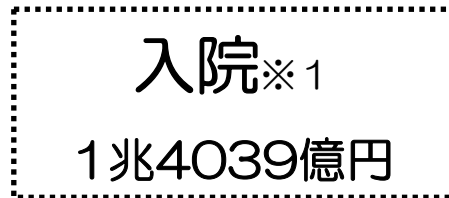
※平成14年、17年の数値は常勤換算したもの

資料:病院報告

精神医療費と精神保健福祉費の推移



精神保健医療福祉の関係費用



<資料>

※1 平成17年度「国民医療費」

※2 平成17年度国庫補助額に基づき推計

精神障害者社会復帰施設の種別施設数・在所者数の推移

(各年10月1日現在)

	年次	1993 (平成5)	1996 (平成8)	1999 (平成11)	2002 (平成14)	2005 (平成17)	2006 (平成18)
種別施設数	総数	159	285	473	1,082	1,687	1,697
	精神障害者生活訓練施設	50	98	182	246	286	289
	精神障害者福祉ホーム	59	81	111	159	233	241
	精神障害者入所授産施設	2	11	21	28	30	30
	精神障害者通所授産施設	48	91	150	208	285	296
	精神障害者小規模通所授産施設				109	375	395
	精神障害者福祉工場		4	9	14	18	18
	精神障害者地域生活支援センター				318	460	428
種別 在所者数	総数	2,151	4,065	7,374	13,668	23,899	25,270
	精神障害者生活訓練施設	748	1,385	2,612	3,822	4,343	4,400
	精神障害者福祉ホーム	412	560	832	1,547	2,746	2,964
	精神障害者入所授産施設	35	178	417	595	690	685
	精神障害者通所授産施設	956	1,882	3,355	5,056	7,191	7,698
	精神障害者小規模通所授産施設				2,359	8,538	9,112
	精神障害者福祉工場		60	158	289	391	411

※ 平成18年度の数字は、障害者自立支援法による改正前の
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律による精神障害者社会復帰施設の数

資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉施設等調査」

精神疾患に対する国民の理解①

調査方法

対象；人口1,000万人間隔の自治体5ヶ所の20～70歳の地域住民計2,000人

方法；統合失調症、大うつ病性障害、広汎性発達障害、アルコール依存症、糖尿病の事例のうちの1種類について、その病名を回答するよう依頼

結果

対象の属性；男女：各1,000人、年齢：10歳毎の各年齢においてそれぞれ400人

事例 \ 回答	統合失調症	うつ病	自閉症	アルコール依存症	糖尿病	こころの病気	からだの病気	ストレス
統合失調症	4.8%	38.6%	1.8%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	14.0%
大うつ病性障害	1.4%	58.6%	0.2%	0.0%	0.2%	15.4%	0.8%	17.4%
広汎性発達障害	0.4%	0.4%	45.8%	0.2%	0.0%	11.4%	0.2%	3.6%
アルコール依存症	0.0%	1.2%	0.0%	85.0%	0.2%	4.2%	0.0%	7.6%
糖尿病	0.1%	0.1%	0.0%	0.4%	87.5%	0.1%	1.2%	1.2%

平成18年度厚生労働科学研究「精神保健医療福祉の改革ビジョンの成果に関する研究」
主任研究者；竹島正

精神疾患に対する国民の理解②

「こころのバリアフリー宣言」の内容に関わる調査結果

- 「考えている」「やや考えている」と回答した割合
- 「こころの健康」への関心；**82.1%**
 - 精神疾患を自分の問題として考えている；**42.2%**
 - ストレスを減らす生活を心がけることが必要である；**94.5%**
 - こころの不調に早く気づくことが大事である；**96.2%**
 - 精神疾患は早期の治療や支援で多くは改善する；**91.2%**
 - 精神疾患は誰もがかかりうる病気である；**82.4%**

平成18年度厚生労働科学研究「精神保健医療福祉の改革ビジョンの成果に関する研究」
主任研究者；竹島正

(参考)

- 激しく変化する現代社会では誰でも精神障害者になる可能性がある；
「そう思う」と回答した割合 **51.8%**
(平成9年 全国精神障害者家族会連合会)